

## 編集後記

本号は、特筆すべきものが二つあります。一つは、セミナーの講演文であり、もう一つは、院生論文である。

前者については、現在、大きな裁判事件として連続して判決が出ている中で、和解として解決方法が図られつつある事件であるが、そういうものを法科大学院生に向けて、生に触れる機会を作るということは、法曹養成にとって大きな意味があり、法曹養成研究所の使命の一つでもあるということである。セミナー開催の労を担われた小栗客員教授に謝辞を述べたい。

後者は、中京大学法科大学院の大きな特色の一つである『研究能力のある法曹養成』とものの最初の具体的な現れであります。中京大学法科大学院のカリキュラムには、『研究論文』という科目が設置されている。その最初の履修による研究論文である。研究能力を喪失しつつある法科大学院において、これもまた大きな意味を有するものであると考える。

まさしく、実務と理論の架橋が、この CHUKYO LAWYER 誌上において、具体化されることに、担当者として、喜びを感じている。

(法曹養成研究所 運営委員 池野 千白)

中京大学法科大学院のホームページ  
<http://chukyo-u.ac.jp/educate/law-school/>

中京大学のホームページ  
<http://chukyo-u.ac.jp/>

---

CHUKYO LAWYER 第7号 2007年10月31日発行

---

発行所 中京大学法科大学院法曹養成研究所  
〒466-8666 名古屋市昭和区山手通5-31-2 中京大学 アネックス  
TEL (052) 835-8326 FAX (052) 835-8342

発行人 所長 村橋 泰志

編集人 副所長 皆川 治廣

印刷 有限会社 真清社  
〒460-0007 名古屋市中区新栄1-47-5  
TEL (052) 241-8085